

日時: 令和5年3月 22日(水)

14:00~15:00

場所: 本校 第一応接室

司会 教頭

記録 藤井(広報企画グループ)

1 開会

【佐藤教頭】

令和4年度平塚工科高校第3回学校運営協議会始める。

2 会長あいさつ

【宇山会長】

- ・ 1年間の締めくくりの時期と同時に、次の準備で一番大変な所だと思う。
- ・ これから平常化していくという見通しがあるが、ここ3年間やってないこともあり今までどうやっていたのかということと後を継いでる部分の情報不足している。また、コロナ渦で新しいことが入ってきたことで、令和5年度は両方を同時展開していかなければならない場合もあり、大変になる可能性がある。

3 校長あいさつ

【齋藤校長】

- ・ コロナが落ち着いてきて、文部科学省の通知を受けて神奈川県教育委員会からも緩和していく方向で動いている。ただ、4/1~5/7まで段階的に緩和し、5/8から平常化する予定である。
- ・ 感染防止対策を行いながら、今年度の学校行事はほぼ普通にできた。
- ・ 入学者選抜が終わり昨年度より改善はしたが、合格者は192名で46名の定員割れが起きた。
- ・ 卒業生の出口は抜群によい。また、進学率は上昇している。しかし、卒業者数の数が減少しているため、就職者の数は減少しているため、大手企業に送れないジレンマを感じている。
- ・ 広報でYouTubeを活用し、閲覧回数が増えている。
- ・ 中学生の普通科志向が強く、工業に目を向けるにはもう少し努力が必要と感じている。
- ・ 3年自動車系の修了式が本日行われ、日曜日の整備士試験の受験資格を生徒は得ることが出来た。
- ・ タウンニュースに本校1年生がアルバイト先で特殊詐欺を止めたという記事が出た。このことについて、修了式に表彰を行う予定である。

4 学校運営協議会

【佐藤教頭】

資料は、次の通り。

令和4年度平塚工科第2回学校運営協議会の次第
令和4年度平塚工科高等学校第2回学校運営協議会議事録
令和4年度学校評価報告書実施結果
資格検定等の結果
卒業生進路状況・進路先一覧
不祥事ゼロプログラム検証結果
第4号様式(辞職(辞任)願)
広報企画グループ業務等報告

(1)第2回協議会後の教育活動報告と次年度に向けた課題(各総括教諭)

【佐藤教頭】

教育活動全体の報告について

【学事 田中修】

- ・ 入学者説明会で1人1台端末の購入について多数あった。また、高校でも使っていくという印象を受けた。
- ・ 次年度の研究授業等で1人1台端末を今後どうやって使うかを考えていきたい。

【総務 秋沢】

- ・ 地域連携とPTAは、コロナが収束に向かっているのでその対応を考えていきたい。
- ・ 防災については、耐震工事の状況を見て避難訓練等の活動をしていきたい。

【教科外 田中聡】

- ・ 文化祭は無事終了した。
- ・ 部活動の加入率は例年より高く 58.3%で、特に1年生は 67.3%だった。1年生の退部理由は、「自分に合わなかった」が散見されたため、部活動オリエンテーション等でうまくマッチングできるような仕組みを考えていきたい。
- ・ 通常の活動に戻っていく中で、委員会活動も徐々に動いていくと思う。

【総合技術 鈴木】

- ・ ジュニアマイスターのシルバーが後期6名でたことで、今年度のジュニアマイスターは8名となった。
- ・ 資格取得は新たに電気施工管理技士2級に7名が合格した。

【進路 高木】

- ・ 今年度の進路状況は、就職 126 名、4年制大学進学 32 名、専門学校 29 名だった。
- ・ 就職の1回目受験の内定率は 91%だった。また、横浜市交通局等の新規の会社も多く内定を頂いた。
- ・ 今後は、就職してからの定着率の上昇を考えていきたい。

【生徒支援 篠原】

- ・ 特別指導の件数は今日現在27件で、昨年度は 11 件だった。内容は、幼い内容やSNSに関わるものが多かった。
- ・ 自転車のクレームは多く、特に東海道線のアンダーパスの歩道走行についてが多い。全職員で指導を行うが、地元の方が自転車で走行しているため、生徒は指導に対して違和感を持つ場合があり、やりにくい場合がある。
- ・ 心の支援は長期休業明けに多い。

【広報企画 藤井】

- ・ 学校説明会に来た合格者は、148 名だった。また、実習体験に来た合格者は、45 名だった。次年度は、実習体験の受入数をもう少し増やしたい。
- ・ YouTube を始めていく中で、本日までの視聴数は 1180 だった。
- ・ 今年度の入学者選抜は、平塚地区の合格者が増加したがまだ定員に達していない。他の地区の受検生や女子生徒の増加を考えていかなければならない。
- ・ 到達度テストの春と秋の結果から、秋の結果が良いことから学びなおしの効果はあったものと考えている。

(2)協議

【石田委員】

- ・ 結果は出ている。工科高校は就職や進学状況などもっとアピールができないか。
- ・ 実習体験等で女子生徒をどう集めるかを検討したほうがよい。

【石井委員】

- ・ 大学では、女子は文系に進む傾向にある。とある大学では情報系で女子を集めようと考えている。
- ・ 機械や電気という名称を現代的な名称に変えていけば興味を持つ可能性がある。

【宇山委員】

- ・ 中学校でも工業の話をしているが、平塚在住の女子生徒は農商を選ぶ傾向にある。
- ・ 平塚地区の中学の状況をもっと分析してもいいと思う。

【坂本委員】

- ・ 大学で女子に人気なのはデータサイエンスである。
- ・ YouTube は効果があると思う。

【石井委員】

- ・ 就職は、大学進学者でも入れない所が多い。就職先をホームページ等でもっとアピールすれば良いと思う。

【齋藤校長】

受検生の進路決定権は、保護者と塾によるものが大きいと思う。その中で工業に興味を持っていない中学生をどう集めるかが悩ましい。

【宇山委員】

これからは、上級学校調べ等で中学校に来てもらうことが増えると思うのでその機会を活用してほしい。

【広報企画 藤井】

本日横内中学校に招かれて説明をしてきた。説明の後に、平工で作った物を渡したら大変興味を持ってくれた。同じように以前浜岳中学校にも招かれて説明をし、平工で作った物を渡したら大変興味を持ってくれた。これからは、こちらから出向くのとSNSを活用していくのがいいと思う。

【宇山委員】

中学校は来校の要望があると思うので、それを機会にアピールしてほしい。

【石井委員】

どの地区の生徒をターゲットにして集めるかを考えたほうがいい。

5 学校評価部会

【佐藤教頭】

各グループリーダーからの教育活動報告と次年度に向けた課題から、各委員の方からご意見を頂いたということで代えさせていただく。

6 意見交換

【宇山委員】

平塚市内の街中の方の公園で中高生等がよく集まっていて心配されている傾向がある。今はSNSで呼びかければ簡単に集まることもできるので、気を付けていかなければならない。

【石田委員】

1人1台端末の購入は、半分位とのことだが購入しなかった生徒は貸し出すのか

【学事 田中修】

学校に貸し出し用として160台ある。次年度以降、リースアップで台数は減少していく。持ち帰りの貸し出しは15台で学期ごとに行っている。必要な場合はそこで貸し出す。

【齋藤校長】

購入はChromebookを推奨しているが、家に端末があるならそれを活用していいと言っている。そのため、購入しなかったということがある。また、購入も厳しく家庭にもない場合は貸し出すということをしている。

【石田委員】

ネット環境には問題がありそうなので、使いづらそうな気がするが状況はどうなっているのか。

【学事 田中修】

高校にはPC室があったり、実習でプログラム等を行うには専用のソフトが入ったPCでないとできない場合がある。座学でつかう副教材として考えられていて、活用はまだまだこれからだと思う。また、様々なアプリを入れたい希望があるため、端末のニーズはあるのではないかと。スマートフォンに関しては、保護者の権限等が掛かっている場合もあった。

【齋藤校長】

今後、生徒が活用するためのスキルに格差が生じて悩ましくなるのではないかと。次年度からは出欠席や悩み相談は生徒の端末から行えるように県教育委員会は推進している。

【坂本委員】

経営している会社でもリモートワークが進んでいる。今後、就職していきなりそのような事が起きるのではないかと。

【石井委員】

小学校でも発表資料を作るにも差ができており、手書きで行うのかコンピュータで行うのかということがある。今後は、レベルの差をどう縮めるかを普通科では厳しそうなので工業ではできるのではないかと。また、それをアピールポイントにすればよいのではないかと。

【佐藤教頭】

事務連絡として、2年の任期から1年の任期の変更に伴いまして、辞職届の提出を教頭までお願いします。また、異動等に伴い次年度のことで相談がある場合は副校長までお願いします。

○出席者

- ・宇山 裕之 平塚市立浜岳中学校 校長
- ・石田 裕昭 神奈川工科大学 経営管理本部企画入学課担当部長
- ・辻原 幸生 平塚市防災危機管理部災害対策課 課長代理兼訓練担当長
- ・石井 正夫 株式会社IMC代表取締役
- ・坂本 雅晴 特定非営利活動法人 ヨコハマみらい環境協議会理事
- ・小林 真理子 PTA会長
- ・齋藤 和宏 校長
- ・米田 朋正 副校長
- ・佐藤 秀世 教頭
- ・田中 修 学事GL
- ・篠原 正樹 生徒支援GL
- ・秋澤 和利 総務GL
- ・高木 一郎 進路指導 GL
- ・藤井 智之 広報企画GL
- ・田中 聡 教科外活動支援GL
- ・鈴木 浩司 総合技術科GL